

＜ドキュメンタリー映画＞

# 『灯籠流し』 (Paper Lanterns)

監督：バリー・フレシエット

「原爆の犠牲者に国境は関係ない」自らも8才で被爆した  
森 重昭さんは、約40年の歳月をかけて、被曝死した  
米兵捕虜12人の遺族を探し出し、真実を伝えてきました。

**2017年10月13日（金）**

**自由学園明日館講堂**

**豊島区西池袋 2-31-3**

**JR 池袋駅メトロポリタン口より徒歩7分**

**開 場：18時30分**

**上映開始：19時（上映時間 約1時間）**

映画の制作にも携わった伊吹由歌子さんの  
お話もあります

**参加費：300円** 当日受付でお支払いください

主催：全国友の会国際交流の会 協賛：（公財）全国友の会振興財団 後援：豊島区



広島市の平和記念公園を訪れた  
オバマ前大統領と抱擁する  
森 重昭さん  
＝ロイター・共同

問い合わせ 全国友の会中央部

TEL03-3971-9359 FAX03-3971-5768

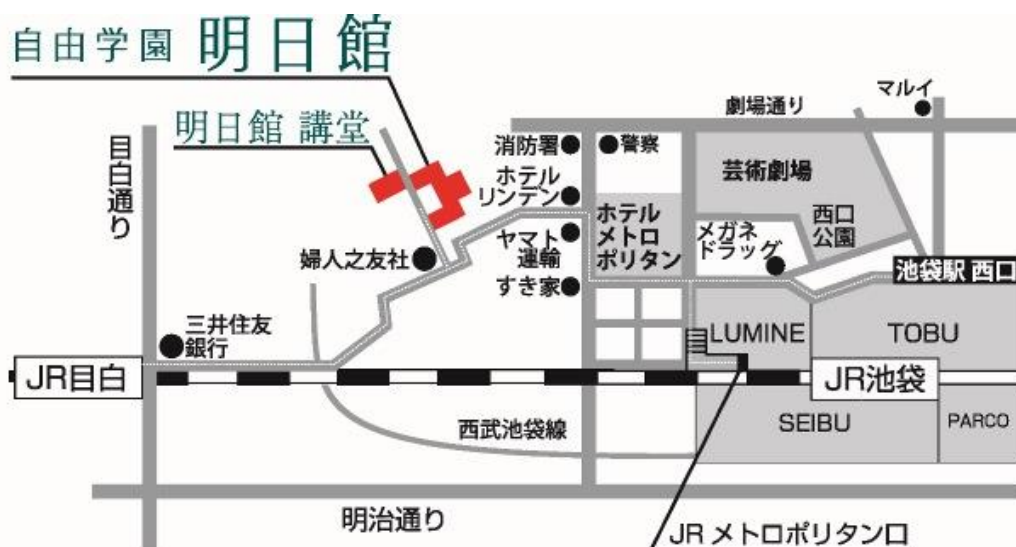
E-mail: tomonoki@sepia.ocn.ne.jp

ホームページ: <http://www.zentomo.jp>

## 『灯籠流し』 (Paper Lanterns) について

歴史研究者の森 重昭さん（1937 年生まれ）は、被爆に関わる証言者を訪ね歩く中で、12 人の米兵捕虜が被爆死していたことを知りました。会社勤めの傍ら、一人ひとりの足跡を丹念に追い、記録し、その遺族を探し出しました。アメリカのオバマ前大統領は 2016 年 5 月 27 日、現職大統領として初めて被爆地・広島を訪問。歴史的なスピーチの中で感謝を伝え、森さんに歩み寄り抱擁しました。

森 重昭さんは 2016 年 第 64 回菊池寛賞、2017 年 日本記者クラブ特別賞を受賞。



**全国友の会** 1930 年、羽仁もと子を中心に婦人之友の愛読者によって誕生した団体です。国内外に 187 の友の会があり、会員数は約 18,000 人。健全な家庭をつくり、社会の進歩に役立ちたいと願い、年代を越えて共に学び、働きかけ、励み合っています。

**友の会国際交流の会** 1985 年から 15 回に及ぶバングラデシュの婦人との「台所の交流」の学びを受けて、国際社会の中の日本という視野に立って友の会の活動を考える会として 2003 年に発足。異文化や日本の近代史などを学び、他団体との交流を通して平和を願う集まりを続けています。